

⑨ 「性的マイノリティについて考えよう」(様々な人権課題・性的マイノリティ)

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、
PTA会員等 (小・中・高校生の子どもがいる保護者等)
- (2) 所要時間 60分

活動のねらい (ポイント)

- (1) 性の多様性について理解するとともに、性的マイノリティの人権に関する問題について正しい理解や認識を深める。
- (2) セクシュアリティの問題は、性的マイノリティだけの問題ではなく、すべての人々にかかわる問題だということを考える。

準備するもの

ワークシート、資料1・2、白紙

進め方 (展開例)

時間	学習の流れ (活動・内容)	留意事項	備考 (資料)
導入 10分	<p>◆学習の確認 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング (5分)</p> <p>「共通点さがし」</p> <p>①グループ全員の共通点をできるだけ多く見つけ、書き出す。(外見でわからない共通点も見つけられるように、積極的にコミュニケーションを図る。)</p> <p>②各グループとも、それぞれ見つけた共通点及び感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [参加体験型学習の約束]の内容を伝える。 →P. 4 (5) の1 参照 ・ 4人のグループで行う。 ・ 他のグループよりも多く出せるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白紙
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通点を探すことで、親近感をもつようになることに気づく。 ・ 共通していない点に気づくことで、違いを尊重し合う大切さを考える。 			
展開 45分	<p>◆アクティビティ (40分)</p> <p>「性的マイノリティについて考えよう」</p> <p>①ワークシートをもとに、自分のセクシュアリティについて考える。</p> <p>②セクシュアリティ及び性的マイノリティについての説明を聞く。</p> <p>③「性的マイノリティは、どんなことで悩んでいると思うか」について、個人でワークシートに記入する。</p> <p>④グループで③について意見交換する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付する。 ・ 資料1を配付する。 ・ 資料2を参照して、セクシュアリティ及び性的マイノリティについて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート →P.59 ・ 資料1 →P.60、61 ・ 資料2 →P.62

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
	<p>⑤性的マイノリティの実状についての説明を聞く。</p> <p>⑥「子どもから性的マイノリティであることをカミングアウトされた友人から相談されたら、どのように答えるか」について、個人でワークシートに記入する。</p> <p>⑦グループになり、⑥について意見交換する。</p> <p>⑧グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p> <p>◆ふりかえり（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティをとおして考えたこと、気づいたことを個人でワークシートに記入し、その後グループでふりかえりをする。 ・グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1を用いて、性的マイノリティの実状について説明する。 ・性的マイノリティへどんな支援ができるかについても、話し合うよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 →P.60、61
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらい（ポイント）をおさえる。 	

・一人ひとりのセクシュアリティには違いがあることに気づく。
 ・異性愛を中心とする社会の中では、性的マイノリティの思いや悩みが見えにくいものであることを知る。

性的マイノリティについて考えよう

ワーク1

自分のセクシュアリティ（人間の性にかかわるすべてのことから）を考えるために、性の3つの指標に、心の中で○をつけてみましょう。書いたり、話し合ったりする必要はありません。

	女	男
身体	_____	_____
心	_____	_____
誰が好き	_____	_____

あなたは3つの指標のどこに○をつけましたか。
そこに○をつけたのはなぜですか。
心の中でふりかえってみましょう。

ワーク2

性的マイノリティは、どんなことで悩んでいると思いますか。思いつくことを書きましょう。

ワーク3

「子どもから性的マイノリティであることをカミングアウトされた」と友人から相談されました。あなたはどのようにこたえますか。

ワーク4

今日のワークをとおして、あなたの感じたことを書きましょう。

性的マイノリティについて理解する

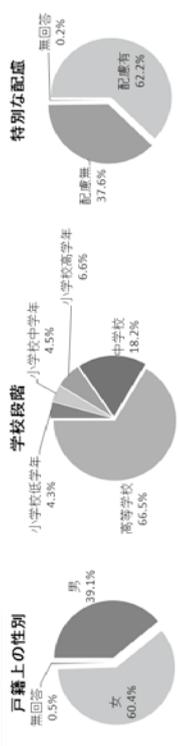
① はじめに

- 「かながわ人権施策推進指針(改定版)」には、「11 様々な人権課題」において、「性的マイノリティ(同性愛者、性同一性障害者や自己の性別に不快感を感じる人、インターセックス(先天的に身体上の性別が不明瞭であること)の人)への偏見や差別意識」といった人権にかかわる問題が示されています。
- 神奈川県では、平成24年11月、人権男女共同参画議長通知「性同一性障害により戸籍上の姓や氏名を変更した方からの資格・合格証明書等の発行申請に対する取扱い等について」が出され、戸籍上の姓や氏名を変更した方から資格・合格証明書等の発行申請があった場合には、戸籍謄本等により性別や氏名の変更を確認し、その内容により証明書等を発行するなど、性同一性障害の方の人権に配慮した対応をすることが求められています。
- 平成25年度、文部科学省が「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査」を実施し、平成26年6月には調査結果が公表されました。文部科学省では、この調査結果を踏まえ、有識者等の意見も聞きながら、学校現場へ必要な情報提供を検討するとしています。

- 「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査」(文部科学省)
対象学校：国公私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校
- 報告件数：合計606件(戸籍上男・女の両方を含む)

※ 報告は、児童・生徒本人が性別違和感を持ち、かつ児童・生徒本人又は保護者が性同一性障害であるとの認識を有しており、「児童・生徒又は保護者がその児童・生徒本人の自己認識を学校の教職員に開示している」場合であり、児童・生徒本人及びその保護者の心情の尊重を最優先事項とし、回答することを望まないケースについては報告を求めています。

606件の内訳



特別な配慮の事例等、詳細な調査結果は、文部科学省のホームページに掲載されています。

性同一性障害 状況調査 検索

- 県立学校においては、女子生徒の制服にスカートとストラップの両方を用意する学校や、小・中学校においては、児童・生徒の名前を呼ぶ際、「〇〇君」「〇〇さん」のよや、に男女で区別することなく「〇〇さん」に統一するなど配慮している学校があります。
- こうしたことから、各学校では、教職員一人ひとり「性同一性障害を含む性的マイノリティ」について理解し、悩みを抱える児童・生徒に寄り添い、全体で支援を進めることが大切です。



② 性的マイノリティとは

世の中には生まれもった性(体の性)と心で感じている性(心の性)が異なる人、一致しない人がいます。また、性的指向(どんな性に魅力を感じるか)もすべての人が「異性愛者」とは限りません。自分と同じ性に魅力を感じる「同性愛者」や男性にも女性にも魅力を感じる「両性愛者」、性愛的な関係を求めない「無性愛者」もいます。

社会的には少数派のそうだった人たちのことを「性的マイノリティ」といいます。性的マイノリティのカテゴリを表すときに使う言葉として、「LGBT」といいます。

「L」「G」「B」「T」はそれぞれの言葉の頭文字です。

「L」… レズビアン → 女性同性愛者。女性で女性を愛する人。

「G」… ゲイ → 男性同性愛者。男性で男性を愛する人。

「B」… バイセクシュアル → 両性愛者。愛する人が同性の場合も異性の場合もある人。

「T」… トランスジェンダー → 生まれもったときに法的社会的に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人。自分自身が認識する性別と身体

の性別が一致しない人。自分を指す医学上の診断名「性同一性障害」より広い概念で、トランスジェンダーの人

の中には、性同一性障害の診断を受けていない人もいます。



電通総研 LGBT調査2012

平成24年(2012年) 電通総研が実施(インターネットによるアンケート調査)

対象：全国20歳～59歳男女個人、約7万人

結果：LGBTの出現率は5.2%。つまり 約20人に1人の割合。

LGBTの学校生活実態調査

平成25年(2013年) 民間団体「いのちリスペクト。ホロイトリボン・キャンペーン」が実施

対象：LGBT当事者及びその周囲かもしれないと思っている10歳から35歳で、小学校から高校の間、主に関東地方で過ごした方(回答数835人、条件に合致した回答609人について分析)

結果：

LGBTであるかもしれないと気がついた時期

「小学校6年まで」31% 「中学校1年から3年」39% 「高校1年から3年」22% 等

自分がLGBTであることを打ち明けた相手(複数回答可)

「同級生」72% 「同年代の友人(部活の友人)」35% 「担任の教師」13% 「養護教諭」14% 等。一方、「誰にも話していない」39%

いじめや暴力を受けた経験(複数回答可)

「身体的暴力、言葉による暴力、性的な暴力、無視・仲間はずれのいじめを経験した」68%

いじめや暴力を受けたことによる影響(複数回答可)

「学校に行くのがいやになった」43% 「人を信じられなくなった」37% 「自殺を考えた」32%

「クラスで孤立した」28% 「わざわざ自分の身体を傷つけた」22% 等

ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2

平成19年(2007年) 日高康晴ほか

対象：日本のゲイ/バイセクシュアル男性(有効回答数5731人)

結果：自殺を考えたことがある人 65.9%

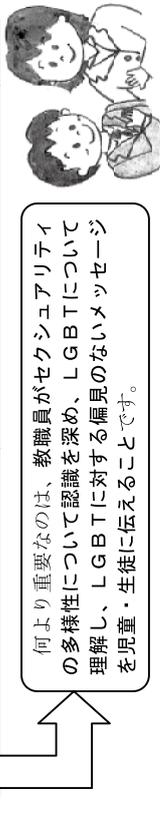
自殺未遂をしたことがある人 14.0%



③ LGBTの児童・生徒が安心して過ごせる学校とは



- ◎ 「『様々な違い』も『個性』と考え、認め合う」ことを積極的に発信する。
 - ・ LGBTに限らず、「違いを認めあう」というメッセージを日頃から発信する。
- ◎ 図書室や保健室等に、LGBTに関する本を置いたり、ポスターを貼ったりする。
 - ・ 「学校はLGBTについて理解している」ということを伝える。
- ◎ 教職員はLGBTの生徒がいるかもしれないことを踏まえて、注意深く言葉を用いたり、行動したりする。
 - ・ LGBTを否定するような言動は慎む。
- ◎ 「女」または「男」以外の選択ができるよう、できるところから環境を整える。
 - ・ トイレ、更衣室、男女別の制服など、困っている生徒がいることを踏まえ、配慮できるところから整える。
- ◎ LGBTをからかう発言や差別する発言を許さない。
 - ・ LGBTについて、肯定的に捉えていることを伝える。
- ◎ カミングアウトの強制はしない。カミングアウトしてもよいし、しなくてもよい。
 - ・ 当事者を取り巻く環境や人間関係に十分配慮する。



④ 児童・生徒からカミングアウトされたときの留意点

- ・ 話を最後まで聞く。また、話してくれたことに対し、「よく話してくれたね。ありがとう」と伝える。
 - ・ 困っていることやニーズを十分に聞き、対応を一緒に考える。（すべてのニーズに応えられるわけではないことを伝える。）
 - ・ 児童・生徒が既に誰に話しているか、また自分は誰に話してよいかを確認する。特に、保護者に対するカミングアウトについて、本人の意思を確認する。
 - ・ 相談した児童・生徒の個人情報の取扱いに十分留意する。
 - ・ 外部機関との連携を図る。また、必要に応じて外部機関を紹介する。
- ※ 「性同一性障害者への対応」、「同性愛者への対応」は必ずすべきである、といったマニュアルはありません。同じ性同一性障害者でも、何に困っているのか、どのような対応を望んでいるのかは、一人ひとり違います。だからこそ、児童・生徒一人ひとりと対話をしながら、一緒に考えることが大切です。

<参考資料など>

「県立学校教職員向け資料『性的マイノリティについて理解する』」神奈川県教育委員会 (平成27年1月)

⑤ 当事者等の声

トランスジェンダー当事者
 俺は苦しい思いを「自傷」 「死にたい」 っていう言葉と行動で表現してきた。でも、本当の俺は自分の気持ちから逃げたいだけ。自分の気持ちに気づくのが怖かった。自傷にはそんな意味合いがあったのかもしれない。馬鹿なことだな。これから少しずつだけと俺の体と心を大事にしたい。体と心はうまく噛み合っていないけれど、心の声を大事にして俺らしく生きていこう。

バイセクシュアル当事者
 高校生の時、同性の友達と話していて、急にドキッとした。自分の感情に驚き、あわてて保健室にかけこんだ。先生にそのことを相談すると、「人を好きになることは素敵なこと」と言われ、安心した。

トランスジェンダー当事者と関わった養護教諭
 自分らしく生きることの難しさ、自分らしく生きていける社会をつくっていくことの大切さを当事者の生徒から学んだ。感性を磨き、思いを受けとめ、一緒に考え話し合っていく過程が大事だと思う。

⑥ その他

- LGBT情報・支援団体
 特定非営利活動法人 SHIP (SHIP にじいるキャビン)
<http://www2.ship-web.com/>
 教職員向け情報サイト(平成27年1月開設予定)
<http://www3.ship-web.com/>
 SHIP ほうとライン 045-548-3980 (相談専用) 毎週木曜 19:00~21:00
<http://rebitlgbt.org/>



□ 学習教材

- 人権学習ワークシート集Vー人権教育実践事例・指導の手引き(高校編 第14集)ー P.80~P.85 12 「普通」って何?~多様な性を考えよう~
- 人権学習ワークシート集ー人権教育実践のために 第14集(小・中学校編)ー P.52~P.54 15 性的マイノリティの人権「性的マイノリティとは?」
- P.82~P.88 5 性的マイノリティの人権「性的マイノリティについて考える」

□ 視聴覚教材(DVD)

- 「思春期の恋バナ」(かながわレインボースターSHIP制作)
 ※ 県立学校に、平成24年3月配付済み
- 「セクシュアル・マイノリティ理解のために ~子どもたちの学校生活とところを守る~」
 (「共生社会をつくる」セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク)
 ※ 行政課人権教育グループで貸出し可



神奈川県 教育委員会 教育局行政部行政課人権教育グループ
 横浜市中区日本大通33 〒231-8509 電話(045)210-8087(直通)
 発行 平成27年1月

セクシュアリティ
及び性的マイノ
リティについて
の解説

性的マイノリティについて理解する

- ① はじめに
- 「かながわ人権施策推進指針(改定版)」には、「11 様々な人権課題」に「性的マイノリティ(同性愛者、性同一性障害者や自己の性別に不快感を感じる人、インターセックス(先天的に身体上の性別が不明瞭であること)の人)への偏見や差別意識」といった人権にかかわる問題が示されています。
 - 神奈川県では、平成24年11月、人権男女共同参画課長通知「性同一性障害により戸籍上の性や氏名を変更した方からの資格・合格証明書等の発行申請に対する取扱い等について」が出され、戸籍上の性や氏名を変更した方から資格・合格証明書等の発行申請があった場合には、戸籍謄本等により性や氏名の変更を確認し、その内容により証明書等を発行するなど、性同一性障害の方の人権に配慮した対応をすることが求められています。
 - 平成25年度、文部科学省が「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査」を実施し、平成26年6月には調査結果が公表されました。文部科学省では、この調査結果を踏まえ、有識者等の意見も聞きながら、学校現場へ必要な情報提供を検討しています。

「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査」(文部科学省)

○ 対象学校: 国公私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校

○ 報告件数: 合計 606 件 (戸籍上男・女の両方を含む)

※ 報告は、児童・生徒本人が性別違和感を持ち、かつ児童・生徒本人又は保護者が性同一性障害であるとの認識を有しており、「児童・生徒又は保護者とその児童・生徒本人の自己認識を学校の教職員に開示している」場合であり、児童・生徒本人及びその保護者の心情の尊重を最優先事項とし、回答することを望まないケースについては報告を求めています。

606 件の内訳

性別	割合
男	59.1%
女	40.4%

性別別の内訳 (性別不明を含む)

性別	割合
男	59.1%
女	40.4%
性別不明	0.5%

学校段階別の内訳

学校段階	割合
小学校	4.3%
中学校	18.2%
高等学校	65.5%
中等教育学校	4.5%
特別支援学校	6.6%

特別な配慮の内訳

特別な配慮	割合
配慮なし	37.5%
配慮あり	62.2%

特別な配慮の事例等、詳細な調査結果は、文部科学省のホームページに掲載されています。

性同一性障害 状況調査 検索

- 県立学校においては、女子生徒の制服にスカートとスラックスの両方を用意する学校や、小・中学校においては、児童・生徒の名前を呼ぶ際、「○○君」「○○さん」のように男女で区別することなく「○○さん」に統一するなど配慮している学校があります。
- こうしたことから、各学校では、教職員一人ひとりが「性同一性障害を含む性的マイノリティ」について理解し、悩みを抱える児童・生徒に寄り添い、全体で支援を進めることが大切です。

性的マイノリティの悩みとして

- ・ 家族・友人との関係
- ・ 将来への不安
- ・ 自尊心の低下など

③ LGBTの児童・生徒が安心して過ごせる学校とは

安心して「カミングアウト」できる環境

「カミングアウト」しなくても安心できる環境

- ◎ 「『様々な違い』も『個性』と考え、認め合う」ことを積極的に発信する。
 - ・ LGBTに限らず、「違いを認めよう」というメッセージを日頃から発信する。
- ◎ 図書室や保健室等に、LGBTに関する本を置いたり、ポスターを貼ったりする。
 - ・ 「学校はLGBTについて理解している」ということを伝える。
- ◎ 教職員はLGBTの生徒がいるかもしれないことを踏まえて、注意深く言葉を用いたり、行動したりする。
 - ・ LGBTを否定するような言動は慎む。
- ◎ 「女」または「男」以外の選択ができるよう、できるところから環境を整える。
 - ・ トイレ、更衣室、男女別の制服など、困っている生徒がいることを踏まえ、配慮できるところから整える。
- ◎ LGBTをからかう発言や差別する発言を許さない。
 - ・ LGBTについて、肯定的に捉えていることを伝える。
- ◎ カミングアウトの強制はしない。カミングアウトしてもよいし、しなくてもよい。
 - ・ 当事者を取り巻く環境や人間関係に十分配慮する。

何より重要なのは、教職員がセクシュアリティの多様性について認識を深め、LGBTについて理解し、LGBTに対する偏見のないメッセージを児童・生徒に伝えることです。

④ 児童・生徒からカミングアウトされたときの留意点

- ・ 話を最後まで聞く。また、話してくれたことに対し、「よく話してくれましたね。ありがとうございます」と伝える。
- ・ 困っていることやニーズを十分に聞き、対応と一緒に考える。(すべてのニーズに応えられるわけではないことを伝える。)
- ・ 児童・生徒が既に誰に話しているか、または自分は誰に話してよいかを確認する。特に、保護者に対するカミングアウトについて、本人の意思を確認する。
- ・ 相談した児童・生徒の個人情報の取扱いに十分留意する。
- ・ 外部機関との連携を図る。また、必要に応じて外部機関を紹介する。
- ※ 「性同一性障害者への対応」、「同性愛者への対応」はこうすべきである、といったマニュアルはありません。同じ性同一性障害者でも、何に困っているのか、どのような対応を望んでいるのかは、人によって異なります。だからこそ、児童・生徒一人ひとりと対話をしながら、一緒に考えることが大切です。

性的マイノリティとは

生まれもった性(体の性)と心で感じている性(心の性)が異なる人、一致しない人もいます。また、性的指向(どんな性に魅力を感じるか)もすべての人が「異性愛者」に限られません。自分と同じ性に魅力を感じる「同性愛者」や男性にも女性にも魅力を感じる「両性愛者」、性的な関係を求めない「無性愛者」もいます。社会的には少数派のそういった人たちのことを「性的マイノリティ」といいます。性的マイノリティのカテゴリーを表すときに使う言葉として、「LGBT」があります。「L」「G」「B」「T」はそれぞれの言葉の頭文字です。

L → レズビアン → 女性同性愛者。女性で女性を愛する人。
 G → ゲイ → 男性同性愛者。男性で男性を愛する人。
 B → バイセクシュアル → 両性愛者。愛する人が同性の場合も異性の場合もある人。
 T → トランスジェンダー → 生まれたときに法律的社会的に割り当てられた性別とは異なる性別を生きている人。自分自身が認識する性別と身体上の性別が一致しない人のことを指す医学上の診断名「性同一性障害」より広い概念で、トランスジェンダーの人の中には、性同一性障害の診断を受けていない人もいます。

電通総研 LGBT調査 2012

平成24年(2012年) 電通総研が実施(インターネットによるアンケート調査)

対象: 全国20歳~59歳男女個人、約7万人

結果: LGBTの出現率は5.2%、つまり 約20人に1人の割合。

LGBTの学校生活実態調査

平成25年(2013年) 民間団体「いのちリズバート、ホワイトリボン・キャンペーン」が実施

対象: LGBT当事者及びそうかもしれないと思っている10歳から35歳で、小学校から高校の間、主に関東東地方で過ごした方(回答数835人、条件に合致した回答609人について分析)

結果:

LGBTであることに気づいた時期
 「小学校1年まで」31% 「中学校1年から3年」39% 「高校1年から3年」22% 等

自分がLGBTであることを打ち明けた相手(複数回答可)
 「同級生」72% 「同年代の友人(部活の友人)」35% 「担任の教師」1% 「義理教師」14% 等。一方、「誰にも話していない」39%

いじめや暴力を受けた経験(複数回答可)
 「身体的暴力、言葉による暴力、性的な暴力、無視・仲間はずれいじめを経験した」68%

いじめや暴力を受けたことによる影響(複数回答可)
 「学校に行くのがいやになった」43% 「人を信じられなくなった」37% 「自殺を考えた」32% 「クラスで孤立した」28% 「わざと自分の身体を傷つけた」22% 等

ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2

平成19年(2007年) 日高康晴ほか

対象: 日本のゲイ/バイセクシュアル男性(有効回答数5731人)

結果: 自殺を考えたことがある人 65.9%
 自殺未遂をしたことがある人 14.0%

性的マイノリティの実状

トランスジェンダー当事者 彼は辛い思いを「死ぬ」「死にたい」という言葉で行動で表現してきた。でも、本音は自分の気持ちから逃げたいだけ。自分の気持ちに気づくのが怖かった。自傷にはそんな意味合いがあったのかもしれない。馬鹿なことだな。これから少しづつだけ俺の体と心を大事にした。体と心はうまく噛み合っていないけれど、心の声に耳を傾けて俺らしく生きていこう。	バイセクシュアル当事者 高校生の時、同性友達と話していて、急にドキッとした。自分の感情に驚き、あわてて保健室に駆けこんだ。先生にそのことを相談すると、「人を好きになることは素晴らしいこと」と言われ、安心した。
---	---

トランスジェンダー当事者と関わった養護教諭
 自分らしく生きることの難しさ、自分らしく生きていける社会をつくるっていくことの大切さを当事者の生徒から学んだ。感性を磨き、思いを受けとめ、一緒に考え話し合っていく過程が大事だと思う。

性的マイノリティ等の声

支援団体
 SHIP (SHIPにじいるキャンピン)
<http://www.ship-web.com/>
 SHIP ぽっとライン 045-548-3980 (相談専用) 毎週木曜 19:00~21:00
 特定非営利活動法人 ReBit
<http://rebitlgbt.org/>

- 学習教材
- 人権学習ワークシート集V-人権教育実践事例・指導の手引き(高校編 第14集) - P.80~P.85 12 「普通」って何?~多様な性を考えよう~
 - 人権学習ワークシート集-人権教育実践のために 第14集(小・中学校編) - P.52~P.54 15 性的マイノリティの人権「性的マイノリティとは?」 P.82~P.88 5 性的マイノリティの人権「性的マイノリティについて考える」

- 視聴覚教材(DVD)
- かながわレインボーセンター-SHIP制作
 24年3月配付済み
 ノリ理解のために ~子どもたちの学校生活とところを守る~
 くる*セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク
 グループで貸出し可
 - 教育委員会教育局行政課人権教育グループ
 横浜市中央区日本大通 33 〒231-8509 電話 (045) 210-8087 (直通)
 発行 平成27年1月

性的マイノリティだということをカミングアウトされたときの対応